

TATIANA TARASOVA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Honoured Coach of the Russian Federation; Consultant Coach for the Russian National Team



Topics

- Government
- Leadership
- Motivation
- Politics

Tatiana Tarasovaは、世界をリードするフィギュアスケートコーチであり、アイススケートの歴史の中で最も世界選手権およびオリンピックフィギュアスケートチャンピオンを指導してきた実績を持っています。

彼女の生徒達はヨーロッパと世界選手権で合計42個の金メダル、17個の銀メダルと6個の銅メダルを獲得しました。これには4つのオリンピックフィギュアスケート分野のうちの3つで7つのオリンピック金メダルが含まれます。Tarasovaは19歳で指導を始めました。彼女の最も著名な学生はAlexei Yagudin、Ilia Kulik、Natalia Bestemianova / Andrei Bukin、Oksana Grishuk / Evgnei Platov、Ekaterina Gordeeva / Sergei Grinkov、Marina Kilmova / Sergey PonomarenkoおよびAlexina Rodnaです。彼女は振付家でもあり、エヴァン・ライサチェック、サーシャ・コーエン、ミシェル・クワンのための振付プログラムも行っています。

彼女の若い頃、タラソワはアレクサンドル・チホミロフとジョージ・プロスクリンと競って、世界クラスのペアスケーターでした。プロスクリンと共に、彼女は2回のソビエト国民メダリストであり、1965年の世界選手権で7位、そして1966年のヨーロッパ選手権で4位を獲得した。しかし、18歳の時、彼女はキャリアを終わらせる傷害を負った。

1993年にTarasovaとElena Chaikovskayaはアイスバレエのオールスターアイスシアターを創設しました。14年間、アイスシアターは世界の多くの国を見学し、タラソワはコーチ、バレエマスター、そしてディレクターとして働きました。彼女はその後、コニユカットの国際スケートセンターであるシムズベリーで10年間コーチをしていましたが、その後、2006年にフルタイムのコーチングからの引退とロシアへの引退を発表しました。

彼女はソビエト連邦（1975年）の名誉あるコーチであり、そして労働の赤い旗の2つの命令、人々の友情の順序（1984年）、名誉の賞（1976年）、の特別賞を受賞していますロシア連邦（1998）、およびOrder of Honor、2007、2008年3月に、彼女は世界フィギュアスケート殿堂入りしました。